

CPXトレーラを用いたタイヤ/路面騒音の測定

◆CPX法 (close-proximity method) の概要

- 規格 ISO 11819-2: 2017
Measurement of the influence of road surfaces on traffic noise
Part 2: The close-proximity method
- 目的 路面性状が実環境の道路交通騒音に与える影響の評価
- 測定方法 タイヤ近接位置でタイヤ/路面騒音を測定 (50 km/h, 80 km/h)
 - CPXトレーラを用いる方法
 - 通常の自走車両を用いる方法

基準タイヤ

P1



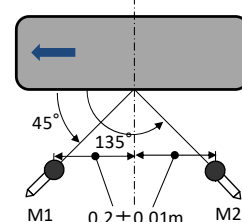
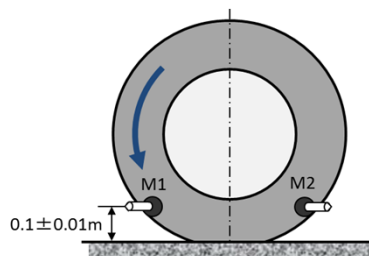
SRTT (ASTM F2493)
P225/60R16
乗用車用タイヤの
音響的特性を代表

H1



AVON AV4
195R14C
重量車用タイヤの
音響的特性を代表

測定位置



◆CPXトレーラ (ISO 11819-2 準拠)

牽引車

搭載する計測機器やPCにより
速度や騒音等のデータを収録



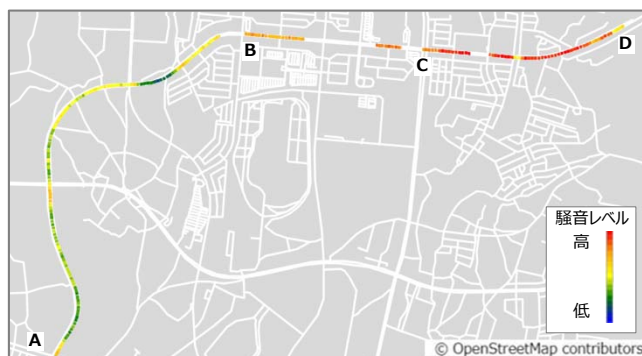
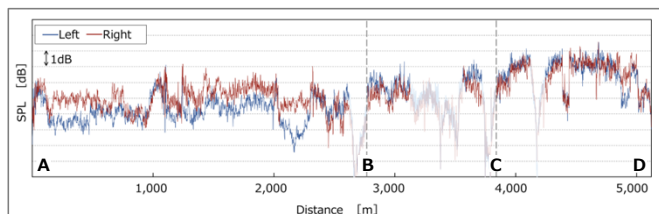
CPXトレーラ

国内唯一

タイヤ/路面の接地面から放射される騒音を
タイヤ近接位置のマイクで測定



測定結果の例



国際規格に準拠した手法 (CPX法) を用いてタイヤ/路面騒音を測定し、
舗装の種類やコンディションによる影響等の調査に活用